

政策 3 つの K のイメージ

村の土台は環境であり、恵まれた環境は産業を後押しし、活力を生み出します。生まれた活力は村びとの暮らしを豊かにします。



誰もが住みたい・住み続けたい 南阿蘇村の実現

Kurashi 暮らし

「大自然の中で子供がすくすく」「お年寄り生き生き」すべての村民が幸せを感じる、そんな「暮らし」を目標とします。
震災の教訓を生かし、災害に強い、安全安心な村づくりを進めます。



私が新たに取組んだこと

- 白水地区小学校最速での統廃合を決断
- 旧久木野庁舎の用途を決定
(図書室&子供広場&ふれあいの場として)
- 祭りなど、地域伝統継承事業を創設
- 高校生までの医療費支給手続きを簡素化
- 村営塾を開校(学力UP 志望校合格者増)
- 子育てワンストップ窓口を新設
- 防災訓練は消防団と役場職員が連動

これから取組むこと

- 震災関連の生活支援や経営再建支援の継続
- コロナ感染症対策と支援の充実
- 公共交通網を整備、改善
《南阿蘇鉄道・ゆるっとバス・乗合タクシー》
- 子育て環境整備《保育・遊び場・医療》
- 教育環境の整備《給食施設・ICT授業・村営塾》
- 福祉活動充実《高齢者学級・シルバー人材センター・各種教室・障がい者支援など》



私が新たに取組んだこと

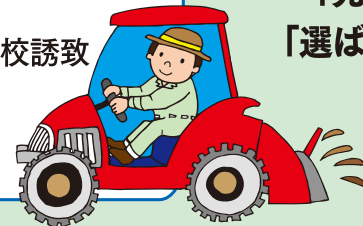
- 近接農地集積事業創設、作業効率化
- 個人が行う基盤整備に助成金制度創設
- 青色申告者増を目的にパソコン導入助成
- ハウス・灌漑施設助成枠を拡大、経営安定化
- 村営たい肥センター強化、有機農業を推進
- 「あそ望の郷」駐車場拡張、「そば道場」を移設
- 「そば」を産地化、乾燥調製保管施設を改修
- 鳥獣害対策としてエゴマ栽培を奨励
- 上天草市と包括連携協定を締結
- ITバレー協議会と協定、IT専門学校誘致
- 「南阿蘇村DMO」(観光局)を設立
- 「空き家バンク」設立、移住定住促進



Katsuryoku 活力

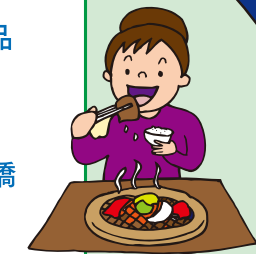
「活力」なくして村の将来は語れません。環境を整え、それを土台として活力につなげます。

恵まれた自然環境を最大限に活かして振興を図り「元気な村」「魅力ある村」「選ばれる村」を創ります。



これから取組むこと

- 農地保全農業振興《新会社を設立》
- 農産物のブランド化《ふるさと納税向け新商品開発・あか牛&赤ワインセット商品など》
- 観光振興、ビューポイント整備
《立野パノラマテラス(大崩落山頂)・新阿蘇大橋展望所・登山道吉田線中腹》
- 女性が安心して活躍できる場の創設
- 小学校跡地等の村有施設利活用
《地域コミュニティ・サテライトオフィス・訪問介護施設・農業後継者育成など》
- 上天草市と交流強化《教育・体験・物産》
- 震災遺構を観光資源に《フットパス整備》



私が新たに取組んだこと

- 地下水保全策として冬季湛水田に助成
- 農業用廃プラスチックの個人負担をゼロに
- 草千里および白川地区東部の野焼きを再開
- 野焼き火入れ責任者を「区長」から「村長」へ
- 薪ストーブ導入を助成、CO2削減事業奨励
- 発電事業を積極支援(小水力R3~、地熱R4~)
- 合併浄化槽設置事業を加速



Kankyo 環境

先人が守り伝えてきた雄大な「景観」、そして村民全てが誇りとする「水」、これらは村の宝であり、守り育み、将来に継承していかなければなりません。

とりわけ水は本村の貴重な財産であり、水の大切さを訴え、保全してまいります。



これから取組むこと

- 地下水保全基金を創設、助成制度を強化
《冬季湛水田・田んぼ貯留・広報活動》
- 再生可能エネルギー利活用、自給率向上
《小水力・地熱・風力・太陽光・バイオマス》
- 阿蘇の世界文化遺産登録推進
《水田保全・草原維持・伝統催事継承》
- 脱炭素社会を追及、日本のモデル地域へ

